

札幌医療センターつうしん

(2020-2号)

令和2年2月1日 発行

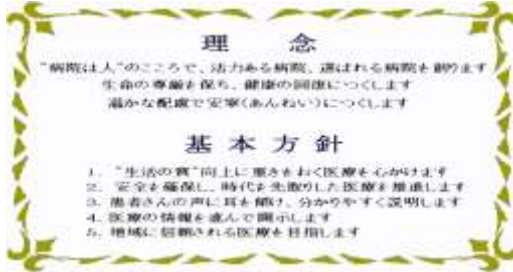
KKR札幌医療センター

〒062-0931

札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40

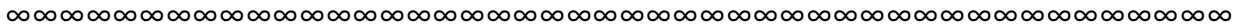
電話(011)822-1811

<http://www.kkr-smc.com>



2月(如月)のこよみ

- 2月 3日(月) 節分
- 2月 11日(火) 建国記念日
- 2月 23日(木) 天皇誕生日



<当院産婦人科のご紹介>

婦人科部長 池田 研

現在5名(日本産婦人科学会専門医5名、うち女医1名)の体制で、婦人科癌・良性疾患・急性疾患・周産期合併症・正常分娩・更年期疾患・不妊症などの診療に当たっています。

2019年次は分娩件数が523件、手術件数が514件でした(うち、内視鏡手術は242件。うち、腹腔鏡下手術が208件・子宮鏡下手術が42件 重複あり)。

産科は、小児科チームとの連携による検診・治療体制が充実しています。妊娠34週以降の母体搬送を受け入れており、チームでお母さんと赤ちゃんをサポートしています。NICU3床を備え、妊娠34週以降の早産にも対応しています。お母さんへの精神的なサポートや両親学級、産後支援にも積極的で、妊娠30週前後の助産師外来も好評です。また、ヨガ教室や和痛分娩(2019年次は22件)にも取り組んでいます。

手術は子宮鏡、腹腔鏡など内視鏡手術を積極的に取り入れています。悪性腫瘍に対しては、早期発見はもちろん、早期治療を心がけています。

化学療法は入院から外来での施行へ安全性を担保したまま移行することに取り組み、婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構(JGOG)の登録参加施設認定、日本婦人科腫瘍学会修練施設認定および日本産科婦人科内視鏡学会研修施設認定を受けています。また、H28年9月より体外受精を始めました。

外来は平日予約制で、新患・予約外は原則8:30から11:00受付です。分娩室は3室LDR(陣痛・分娩・回復室)です。

【担当医のご紹介】

- 涌井 之雄 — 婦人科腫瘍専門医
- 西 信也 — 生殖医療専門医
- 池田 研 — 漢方専門医
- 遠藤 大介 — 産婦人科一般、主に内視鏡手術に力を注いでいます。
- 木村 敬子 — 産婦人科一般、主に周産期治療に力を注いでいます。

当院は<<敷地内全面禁煙>>となっております

## 外来のご案内と待ち時間対策への取り組み

外来師長 三上智哉

当院の外来は19診療科からなり、一般的な外来診療のほかに専門外来、日帰り手術、内視鏡検査など様々な治療や検査が行われています。当院は地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院としての役割を持ち、地域の医療機関と連携しているため、道内・市内多方面からの患者が訪れます。外来患者が多い日では1000人を超えることも多く、外来の2018年度一日平均患者数は1025.1人でした。そのため、診療や検査の待ち時間が発生することも多々あり、患者さんやご家族の方には大変申し訳なく思っております。

外来では待ち時間対策として中央処置室へ新システム導入、各診察室の待ち時間表示、検査説明の工夫などで待ち時間対策に取り組んでいます。診察予約数にも影響されますが、中央処置室の新システム導入により、導入前と比べ20分～30分ほど待ち時間が短縮されました。

また、待ち時間対策の一環としても「かかりつけ医」をお勧めさせていただいております。「かかりつけ医」を持つということは、家族全体の健康管理だけでなく当院受診が必要と「かかりつけ医」で判断された場合に「紹介状」が発生するため優先的に診療を受けられます。初診時に負担される保険外併用療養費（5500円）も不要となります。現在、当院に定期的に通院中の患者さんにおかれましても、急性期を過ぎ、病状が安定された状態と医師から判断された場合は地域の連携医である「かかりつけ医」に逆紹介させていただいております。そうすることで安定期は「かかりつけ医」、病状悪化や病状の変化が生じた場合は当院に紹介していただき優先的に診療を受けるという流れができます。「かかりつけ医」に関しては各診療科の医師や看護師、地域連携室にお気軽にご相談ください。

今後も外来診療に関わる職員が一つのチームとなって連携・協働し、患者さんに寄り添い、質の高い医療、看護の提供に努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

